短 報

アカコッコマダニ刺咬症の1例

A case of human tick bite by *Ixodes turdus*

角坂 照貴¹⁾・長谷川順一²⁾

KADOSAKA, T.¹⁾・J. HASEGAWA²⁾

¹⁾ 愛知医科大学寄生虫学教室 (〒480-11 愛知郡長久手町)

Department of Parasitology, Aichi Medical University,
Nagakute, Aichi-gun, Aichi 480-11 Japan

²⁾ 名古屋徳洲会病院皮膚科 (〒487 春日井市高蔵寺町 2-28-1)

Division of Dermatology, Tokushuukai Hospital,
Kouzouji-cho, Kasugai, Aichi 487 Japan

(受領: 1995 年 11 月 29 日; 掲載決定: 1996 年 1 月 16 日)

ABSTRACT

Kadosaka, T. and J. Hasegawa, 1996. A case of human tick bite by *Ixodes turdus*. *J. Acarol. Soc. Jpn.*, 5(1): 39-40.

A case of human tick bite by an adult female of *Ixodes turdus* was reported as the sixth case in Japan. On April 1995, the tick was found on the vertex region of the scalp of a 4-year-old girl living in Kasugai-City, Aichi.

Key words: human tick bite, *Ixodes turdus*

はじめに

近年, マダニ媒介性感染症の増加で国内でもマダニ刺咬症が注目されるようになってきた。最近, アカコッコマダニ刺咬症の1症例を経験したので国内で6症例目の記録として報告する。

症 例

症例: 4 歳, 女児

初診: 1995 年 4 月 20 日

現病歴および生活環境: 母親が毛髪内の腫瘍に気が付き受診。患者の住居周辺には, 田畑が残り鳥類も多いが, 住居に接する草木地はない。通園する幼稚園は, 林で囲まれた神社が隣接する。

現症: 頭頂部付近に 3×4 mm 大, いぼ状の腫瘍とその周囲に紅斑を認めた。腫瘍は, 初診時にダニと気が付かず摘出され, その一部は病理組織標本とされた。これらには三層の外皮構造, 気門の断面, 赤血球の集塊が認められたことからダニの胴部と考え, 残されたホルマ

リン固定標本を詳細に検討した。全身状態は良好でリンパ節腫脹も認められなかった。

虫体の同定：口下片の一部が欠損し、胴部後半も病理組織標本とされたため欠いていた。第1脚基節には同大の外棘と内棘を認め、第I～IV脚基節には各々に外棘のみを認めた。顎体部の耳状体は良く発達し外側方に突出している。背板は胴背部前半に存在し、縦長の菱形で、後縁は丸みをもつ。これらからアカコッコマダニ *Ixodes turdus* Nakatsuji, 1942 雌成虫と同定した。

考 察

アカコッコマダニは鳥類を宿主とするマダニで、山口の総説（山口，1989）のなかでは人体寄生種に含まれていなかったが、Woo ら（1988, 1990）により初めて人体寄生症例が報告された。その後、山口（1991）により3例、伊藤ら（1992）により1例の症例報告がなされ、本症例が6例目の記録となる（表1）。アカコッコマダニ刺咬症は、4～6月初旬に全て発生し、本症例も含め4症例が小児、2症例が高齢者である。山口ら（1991）も指摘しているが、寄生部位にも特徴がみられ、本症例も含め4症例が頭部毛髪内で、2症例が耳介後部と頭部に集中している。また、他のマダニ刺咬症例と異なり野山で咬着を受けたと考えにくい症例が多く、日常的な場所での刺咬症例が多いと思われた。

表1. アカコッコマダニ刺咬症例

症例	年齢	性	寄生部位	発 生 地	報 告 者
1	6歳	男	耳介後部	東京都保谷市	禹ら(1988, 1990)
2	70歳	女	頭 頂 部	埼玉県上尾市	山口ら(1991)
3	2歳	女	頭 頂 部	福島県福島市	山口ら(1991)
4	小児	男	頭 部	福島県郡山市	山口ら(1991)
5	58歳	女	耳介後部	東京都町田市	伊藤ら(1992)
6	4歳	女	頭 頂 部	愛知県春日井市	本症例

謝 辞

マダニ同定に関しご教示いただきました埼玉医科大学短期大学 山口 昇教授ならびにご協力くださいました愛知医科大学病院病理部 原 一男助教授に深謝いたします。

文 献

- 伊藤洋一・金子清俊・増沢幹男・大川 司・岡田 純(1992): 1990年の1年間に北里大学医学部に同定を依頼された興味ある人体刺咬のダニ3種について. 北里医学, 22(2): 273-277.
- 禹 仁哲・馬場俊一・鈴木啓之・川端真人(1988): アカコッコマダニ刺咬の1例. 日皮会誌, 98: 845.
- Woo In Cheol, S. Baba, H. Suzuki and M. Kawabata (1990): A case of tick bite with *Ixodes turdus* Nakatsuji-A report from Japan-. *J. Dermatol.*, 17: 56-58.
- 山口 昇(1989): マダニ刺咬一種の多彩と症例の増加. 最新医学, 44(4): 903-908.
- 山口 昇・藤田博己・斎藤一三(1991): アカコッコマダニによる人体刺咬の確認. 衛生動物, 42(2): 204.